

総括

台風14号で被災した宮崎県北川町と日之影町、大地震に襲われた福岡市玄海島、集中豪雨に見舞われた東京都杉並区などの状況を見ると、住民の迅速な避難行動などによって被害の軽減に成功している。共通のキーワードは「情報」「コミュニケーション」である。早期の頻繁な情報提供や、日常の訓練等を通して醸成された地域住民および防災組織間の良好なコミュニケーションが、実際の緊急時に役立っている。

市町村長が避難勧告・指示を出しても、住民の防災意識が低く、多くの住民が避難しない場合が見受けられる。この状況を改善するためには、情報を出すタイミング、いかに危険な状態かを実感させる伝え方等、情報を出す側においても、さらに情報提供について改善していくことが必要である。また、災害時だけでなく、平常時から住民に情報提供すること、そのための様々な準備が必要である。

その準備の1つが、法制度の整備・改正といえる。ハザードマップ作成の義務化や特別警戒水位の設定など、対策は急ピッチで進んでいるが、こうした施策と相まって、今後ますます地域単位の自主的な防災対策が重要になってくるだろう。そして、最終的には住民一人ひとりの防災意識が向上していくことを願いたい。

表紙写真

上上段 土石流に破壊された集落（鹿児島県垂水市新城小谷地区）〔写真提供／読売新聞社〕
上段 橋脚が流失した錦帯橋（山口県岩国市）〔写真提供／毎日新聞社〕
中段 被災した玄界島の家屋（福岡県）〔写真提供／毎日新聞社〕
下段 雪で屋根が崩落した谷合体育館（岐阜県山県市谷合）〔写真提供／毎日新聞社〕
下下段 米海洋大気庁の気象衛星「ノア」が撮影したハリケーン「カトリナ」〔写真提供／EPA＝時事〕

目次 38-39ページ写真

自衛隊員のボートで救出される住民（宮崎県高岡町）〔写真提供／毎日新聞社〕
裏表紙写真
上上段 県道飯田高原中村線の被災状況（大分県玖珠郡九重町）〔写真提供／大分県土木部〕
上段 前川の護岸決壊（鹿児島県志布志市帖）〔写真提供／鹿児島県土木部〕
中段 五ヶ瀬川の越水状況（宮崎県延岡市岡富地区）〔写真提供／延岡河川国道事務所〕
下段 国道17号の除雪状況（新潟県魚沼市）〔写真提供／北陸地方整備局〕
下下段 貯水率0%となった早明浦ダム（高知県）〔写真提供／時事通信社〕

取材協力先一覧（五十音順）

大分県土木建築部
鹿児島県土木部
気象庁地球環境・海洋部 気候情報課
九州地方整備局企画部
九州地方整備局延岡河川国道事務所
九州地方整備局宮崎河川国道事務所
近畿地方整備局企画部
四国地方整備局企画部
杉並区立桃井第三小学校「おやじの会」
東京都建設局
東京都杉並区

独立行政法人水資源機構池田総合管理所
新潟県土木部
兵庫県豊岡市
福井県土木部
福岡県福岡市都市整備局・下水道局
福岡市漁業協同組合玄界島支所
北陸地方整備局企画部
北陸地方整備局湯沢砂防事務所
宮崎県北川町
宮崎県土木部
宮崎県日之影町

2005年の災害を振り返る

災害列島 2006

- 発行日
平成18年3月
- 発行所
国土交通省河川局
防災課災害対策室
東京都千代田区霞が関2-1-3
〒100-8918
TEL.03-5253-8111（代表）
- 企画・編集
財団法人河川情報センター